





提案全体のタイトル: **春日部2世、3世その先へと住みつなぐまち ~未来へ発信する世代循環プロジェクト~** 提案者名: 春日部市

全体計画の概要:
高齢者が健康で安心して住み続けられる春日部。若い世代が「住み続けたい!」、就職や結婚で市外に出た人も、「再び春日部で暮らしたい!」と思える、コンパクトで質の高いまちを形成し、住みつがれていく『世代が循環する』まちを実現する。

| | | |
|------------------|--|---|
| 1. 将来ビジョン | 地域の実態 | 2030 年のあるべき姿 |
| | <ul style="list-style-type: none"> 世界的に人気のある「クレヨンしんちゃん」の舞台となっている庶民的なまち かつて「東洋一」と呼ばれた巨大な郊外住宅団地が建設され人口急増が始まった しかし現在は、少子高齢化と人口減少がこの団地から始まりつつあるまち | <p>かつて「東洋一」と呼ばれた団地の再生から始める</p> <p>春日部2世、3世へと住みつなぐ“世代が循環するまち”</p> |
| | 2030 年のあるべき姿の実現に向けた優先的なゴール・ターゲット | <ul style="list-style-type: none"> 多様な世代の交流による、子育て環境の充実と幸せなシニアライフの実現 駅を中心とした魅力あふれる拠点整備と、歩いて出かけたくなる暮らしやすいまちの実現 市民・事業者・行政が協働し、地球環境に配慮するネットワークの実現 <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>3 すべての人に健康と福祉を</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>11 住み続けられるまちづくりを</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>13 気候変動に具体的な対策を</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>17 パートナリシップで目標を達成しよう</p> </div> </div> |

| | | | |
|----------------------------|--|---|---|
| 2. 自治体SDGsの推進に資する取組 | 自治体SDGsに資する取組 | 情報発信 | 普及展開性 |
| | <ul style="list-style-type: none"> 団地をはじめとするストックの有効活用 三世代近居と官学連携による世代間交流促進 再生可能エネルギー、グリーン購入、次世代自動車の普及促進 コンパクトシティ化による市全体の省エネルギー化 | <ul style="list-style-type: none"> ピンバッジやエコバッグを身につけ全職員が発信 フォーラムやワークショップの開催 市 HP でSDGsの取組と協力企業を紹介 市広報紙にてゴールアイコンを記載して啓発 地域と取り組むプラスチックスマートでPR | <ul style="list-style-type: none"> 全国の郊外住宅団地再生モデル どこの地域でも実行できる「交流」による活性化 大学生など若い世代による政策提案の採用 職員厚生団体と一体となったSDGsの取組 歩いて暮らせるまちづくりモデル |

| | | | |
|----------------|---|--|--|
| 3. 推進体制 | 各種計画への反映 | 行政体内部の執行体制 | ステークホルダーとの連携 |
| | <ul style="list-style-type: none"> 第2次春日部市総合振興計画へのマッピングをもとに見えてきた課題や強みを検証し、次期まち・ひと・しごと創生総合戦略を策定（他の計画も同様） 策定時にはマッピングを行ってKPIを設定し、このKPIを春日部版ローカル指標として実装 | <ul style="list-style-type: none"> 市長を本部長とする庁内推進本部を設置 「春日部市SDGs推進方針」を策定 SDGsに関する職員研修を継続して実施 全部局でSDGsの各目標を認識して職務を遂行 | <ul style="list-style-type: none"> URと協働でSDGs団地再生に取り組む“初”のケース 「交流」や「支え合い」を行う団体等との連携 市内経済の核である金融機関と連携 さいたま市との未来都市連携+広域的自治体連携 |
| | 自律的好循環の形成に向けた制度の構築等 | <ul style="list-style-type: none"> SDGsパートナー制度を活用し、多くのステークホルダー(特に大学など若い力の参画)により、取組を加速させていく 市がプラットフォームとなり、ステークホルダーの交流とマッチングを行い、Win-Win の関係を構築する さらに、市内金融機関が行っているSDGs私募債を活用し、取組の後押しと、資金の還流による自律的好循環を実現する | |